

令和7年度「とくしまGXスクール」認定校 99校

脱炭素社会実現に向け、「持続可能な社会の創り手」を育成するため、環境負荷の低減や自然との共生等、従来の「新 学校版環境ISO」の取組に加え、環境とSDGsの関わりを意識した取組を実践する学校を本県独自に、「とくしまGXスクール」として認定するとともに、児童生徒一人ひとりの意識改革と行動変容を促し、小学校段階から高等学校段階まで一貫した取組を推進します。

小学校 52校	徳島市八万小学校	阿南市立横見小学校	三好市立箸蔵小学校
	徳島市論田小学校	阿南市立宝田小学校	三好市立白地小学校
	徳島市方上小学校	阿南市立大野小学校	三好市立馬路小学校
	徳島市宮井小学校	阿南市立長生小学校	三好市立三縄小学校
	徳島市渋野小学校	阿南市立桑野小学校	三好市立山城小学校
	徳島市不動小学校	阿南市立新野小学校	上勝町立上勝小学校
	徳島市入田小学校	阿南市立新野東小学校	佐那河内村立佐那河内小学校
	徳島市応神小学校	阿南市立今津小学校	石井町浦庄小学校
	徳島市南井上小学校	阿南市立福井小学校	美波町立日和佐小学校
	鳴門市撫養小学校	阿南市立椿小学校	美波町立由岐小学校
	鳴門市桑島小学校	阿南市立羽ノ浦小学校	美波町立伊座利小学校
	鳴門市里浦小学校	吉野川市立西麻植小学校	海陽町立宍喰小学校
	鳴門市堀江南小学校	吉野川市立高越小学校	松茂町立長原小学校
	鳴門市板東小学校	阿波市立柿原小学校	藍住町立藍住東小学校
	小松島市南小松島小学校	阿波市立御所小学校	板野町立板野東小学校
	小松島市児安小学校	阿波市立伊沢小学校	上板町立松島小学校
小松島市芝田小学校	阿波市立林小学校		
小松島市立江小学校	三好市立芝生小学校		
中学校 23校	徳島市加茂名中学校	阿南市立那賀川中学校	三好市立井川中学校
	徳島市不動中学校	阿波市立吉野中学校	勝浦町立勝浦中学校
	鳴門市第一中学校	阿波市立市場中学校	佐那河内村立佐那河内中学校
	鳴門市第二中学校	美馬市立江原中学校	美波町立由岐中学校伊座利分校
	鳴門市瀬戸中学校	美馬市立美馬中学校	藍住町立藍住中学校
	鳴門市大麻中学校	三好市立三野中学校	上板町立上板中学校
	阿南市立加茂谷中学校	三好市立池田中学校	東みよし町立三好中学校
	阿南市立福井中学校	三好市立山城中学校	
高等学校・ 中等教育学校・ 特別支援学校 24校	徳島県立城南高等学校	徳島県立富岡東高等学校(全)	徳島県立名西高等学校(定)
	徳島県立徳島北高等学校	徳島県立富岡東高等学校(定)	徳島県立吉野川高等学校
	徳島市立高等学校	徳島県立富岡東高等学校羽ノ浦校	徳島県立脇町高等学校
	徳島県立徳島商業高等学校	徳島県立阿南光高等学校	徳島県立池田高等学校辻校
	徳島県立徳島中央高等学校(定夜)	徳島県立海部高等学校	徳島県立池田高等学校三好校
	徳島県立徳島中央高等学校(定昼)	徳島県立鳴門高等学校(全)	徳島県立ひのみね支援学校
	徳島県立小松島高等学校	徳島県立鳴門高等学校(定)	徳島県立みなと高等学園
	徳島県立小松島西高等学校	徳島県立名西高等学校(全)	徳島県立阿南支援学校ひわさ分校

※現在278校が「とくしまGXスクール」に認定されています。

令和7年度

# とくしま 環境学習 フォーラム

2026年

日時

2/6 金 13:55~16:00

場所

徳島県立総合教育センター ホール  
板野郡板野町犬伏字東谷1-7

デコ活  
くらしの中のエコロがけ

本フォーラム及び本パンフレットは「環境省「デコ活」地域における地球温暖化防止活動促進事業」を活用し、開催・制作しています。

[主催] 徳島県・徳島県教育委員会・特定非営利活動法人徳島サステナブル社会推進センター

# プログラム

●13:25 開場／受付開始

●13:55 開会・挨拶 徳島県生活環境部 副部長 **吉成 浩二**

## ●14:00 実践活動の発表

▶吉野川アドプトプログラムから始まる吉中環境アップデート作戦

阿波市立吉野中学校

▶木育活動を通した林業が目指す脱炭素運動の取り組み

徳島県立那賀高等学校

▶むぎ食環ベース:環境と地域食に関する学びの拠点創出プロジェクト

NPO法人牟岐キャリアサポート

●14:30 「とくしまGXスクール」認定証交付

●14:40 休憩

●14:50 基調講演

演題  
講師

## 気候変動教育

—2050年脱炭素社会を生きる市民の育成のために—

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 理事長 **高田 研氏**

●15:50 講評・挨拶 徳島県教育委員会 教育次長 **海老名 正規**

●16:00 閉会

## 基調講演

演題  
講師

## 気候変動教育 —2050年脱炭素社会を生きる市民の育成のために—

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 理事長 **高田 研氏**



### プロフィール

大阪府出身。兵庫県、大阪府で公立小中学校教員。国立淡路青年の家専門職員。岐阜県立の林業専修学校である森林文化アカデミー教員(森林環境教育)を経て都留文科大学へ赴任。15年間環境教育学を担当し2023年に退職。都留市では幼保の先生達と幼児の自然体験活動を推進。2019年より現職。

徳島県との関わりは阿波西高校で2003年より人権教育、阿波高校では2007年から主に防災教育をテーマにして参加型学習(ワークショップ)の指導を長年続けてきた。また2004年海部高校開学時には新1年生に海部高校1期生としてのアイデンティティを形成するための3日間のワークショップを行った。また城西高校神山校においては新コース1年生のクラス開き合宿の指導、その後も教育改革に参画。気候変動教育の推進のため徳島県地球温暖化防止活動推進センターと共に城西高校神山校(2024発表)、板東小学校、昼間小学校(2025発表)に関わってきた。本年度は那賀高校の支援を行っている。



緩和すたちくん



適応すたちくん

# スーパーとくしまGXスクール

徳島県教育委員会では、脱炭素社会の実現に向け、「持続可能な社会の創り手」を育成するため、環境負荷の低減や自然との共生に継続的に取り組む「とくしまGXスクール」を認定しています。その中から、「スーパーとくしまGXスクール」として指定された学校は、大学等と連携しながらSDGsの学習に先進的に取り組み、児童生徒一人ひとりの意識改革と行動変容を促すための新たな環境学習プログラムを開発し、その成果を他の学校に広く普及することを目指しています。

## 吉野川アドプトプログラムから始まる吉中環境アップデート作戦



阿波市立吉野中学校

本校では、毎年、各学期1回ずつの計3回、全校生徒が吉野川堤防周辺の清掃活動を行うアドプトプログラムを実施しています。この取組は2003年に始まり、今年で22年目を迎える伝統的な環境保全活動です。1学期は地域の方々、2学期は「SDGs参観日」として保護者も参加し、学校と地域が連携しながら環境意識を高めています。

また、今年度は、総合的な学習の時間に、今も未来も過ごしやすい学校の実現のために、生徒自身で考え、行動し、振り返る活動や、生徒会のSDGs環境委員会が中心となり、学校全体にSDGsの視点を広げる活動を継続的に進め、学校と家庭をつなぐ取組などを行いました。生徒たちは、環境問題を自分の生活と結び付けて考え、ウェルビーイングな社会の実現を目指して主体的に行動する姿勢を育てています。今後も地域や家庭と協働しながら、より豊かな学びを深めていきます。

## 木育活動を通した林業が目指す脱炭素運動の取り組み



徳島県立那賀高等学校

那賀高校森林クリエイト科は持続可能な循環型社会の形成に向けた人と森林の新たな関わり方を創造し、地域創生を担う人材を育成するため2016年に設置されて今年度で10年目を迎えています。特色ある教育として、環境に配慮した新たな木の付加価値を創造する木工製品の開発に取り組み、脱炭素社会の実現に向け力を入れています。第1次産業である林業からCO<sub>2</sub>削減に取り組む姿勢「ウッドチェンジ」を、県や地域の方々と協働して2050年のカーボンニュートラル達成に向けて様々な活動に参画しています。

活動内容としては、地域のイベントに参加し「木育活動」を進める広報活動に取り組むほか、環境問題に詳しい方を招いての講演会を開催するなどして環境問題を自分事として捉え、脱炭素社会の実現に向けて歩みを進めています。

## NPO法人牟岐キャリアサポート

むぎ食環ベース

## 環境と地域食に関する学びの拠点創出プロジェクト



地球温暖化は、私たちが日々の食卓で口にしている農林水産物に大きな影響を与えます。NPO法人牟岐キャリアサポートの活動拠点である牟岐町では、ひじき、てんぐさなどの海藻類が豊富でしたが、ここ数年で海水温の上昇等から海藻類が激減するなど、地球温暖化の影響が現れ始めています。

本プロジェクトでは、1970年代に地域で食べられていた食材、料理を記録保存しカレンダーとしてまとめ、現在との違いを比較できるようにするとともに、京都府丹後地域や宮城県石巻市などの小中高校生とも連携し、離れた地域と環境の変化について比較する取組にも着手します。

同時に本プロジェクトに関わる人材を育成するため、牟岐町内での日帰りスタディツアーや、牟岐町及び上勝町でのスタッフ合宿も実施しています。今回の発表では、地域の食に注目することを通じて、地球温暖化の問題に気づくことができることを紹介します。